

令和元年度

訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

「四国遍路」滞在型コンテンツ開発事業

令和元年度 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業 「四国遍路」滞在型コンテンツ開発事業報告書【概要】

◆連携DMO

一般社団法人四国ツーリズム創造機構
一般社団法人イーストとくしま観光推進機構

◆受託事業者

一般財団法人百十四経済研究所

◆期間

令和元年8月8日～令和2年3月31日

◆目的

昨今の外国人遍路の嗜好は多岐にわたるが、観光庁の調査「体験型観光コンテンツ市場の概観」によると、「海外旅行で体験したいこと」については、「豊かな自然」「街並み、有名な建築」「その国の歴史や遺跡」「地域の食やお酒」等に類するコンテンツが上位を占めており、「海外旅行に期待すること」については「現地でしか体験できないこと、本物の体験」「じっくり時間をかける」「家族や知人に話せるような面白い体験」が上位を占める。従来の富士山、桜、寺社仏閣といった典型的なイメージだけでなく、豊かな自然・アウトドアアクティビティ、日本食にとどまらない食の魅力、伝統芸術に加え世界から注目される現代アートなど豊かな四国の魅力を発信することが必要となる。

本事業では、四国でしか体験することのできない観光資源であり、重要な文化遺産である四国遍路「Shikoku88」をテーマとした滞在型コンテンツとして、

- ・「Shikoku88」の完歩を目指す外国人を対象とする「本格派向けコンテンツ」
 - ・周辺観光と併せて、遍路体験もしてみたい外国人を対象とする「ライト層向けコンテンツ」
- を造成し、訪日無関心層に向けて訴求を図る。

◆成果物

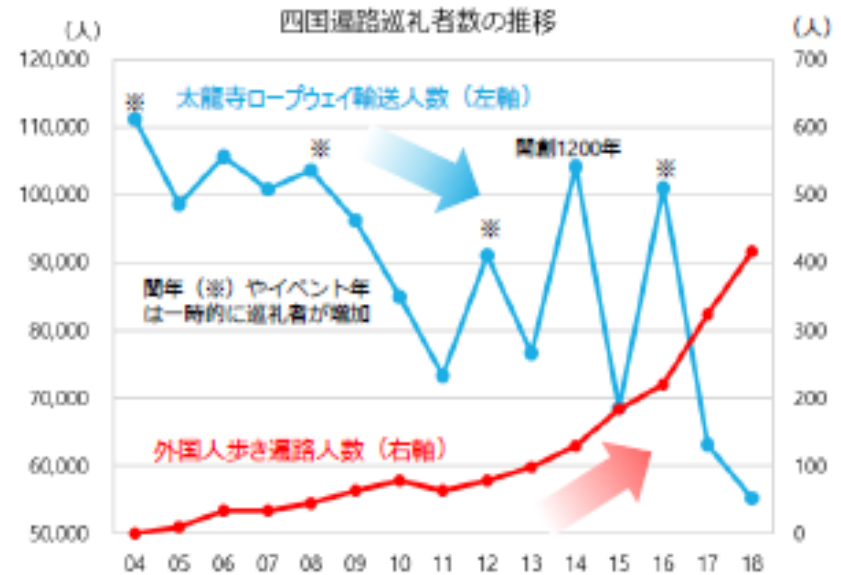
- ① 外国人歩き遍路のための巡礼トレーニング・プログラム
- ② Three Training Programs for Pilgrims
- ③ 外国人歩き遍路向けトレーニングプログラム運営指針
- ④ 外国人歩き遍路向け遍路コーディネーター・ハンドブック
- ⑤ ライト層向けコンテンツ素材集（情報拠点含む）日本語版
- ⑥ ライト層向けコンテンツ素材集（情報拠点含む）英語版
- ⑦ 滞在型旅行商品集（ライト層向けコンテンツ）日本語版
- ⑧ 滞在型旅行商品集（ライト層向けコンテンツ）英語版
- ⑨ お遍路インバウンドガイドのための自主学習資料

令和元年度 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業 「四国遍路」滞在型コンテンツ開発事業報告書【概要】

※本格派向けコンテンツ造成の背景

歩き遍路は、中山間部の過疎地を含む1,200km・札所88ヶ寺を40～50日かけて歩く巡礼体験（回遊型観光コンテンツ）であり、外国人歩き遍路は、生活習慣・文化の異なる環境で長期間過ごすこととなり、事前のガイダンスや旅ナカの質問・困りごと等へのサポートが特に必要と考えられている。このような要請に応えるかたちで、有識者やボランティアが徳島県内の霊場や遍路道において、外国人遍路を支援するためのレクチャーや同行案内を行ってきた。

しかし、近時、歩き遍路に関心を示す欧米豪の外国人旅行者が急増（右図）しており、早晚ボランティア等では対応できなくなる状況が予想される。また、札所88ヶ寺を完歩した外国人遍路へのアンケートやインタビューから、歩き遍路が欧米豪の旅行者に対するキラーコンテンツとして強い訴求力を持つことが明らかになっていることから、本格派向けコンテンツ造成事業において、欧米豪旅行者の属性・ニーズ等を分析し、四国遍路のスタート地点で、完歩を目指す外国人歩き遍路のための3つのトレーニング・プログラムを造成する。



出典：四国アライアンス「新時代における遍路受入態勢のあり方調査2019年」



以上を踏まえ、

- ・ターゲット層に訴求する2タイプの滞在型コンテンツ(本格派向けコンテンツ及びライト層向けコンテンツ)の企画開発
- ・コンテンツ造成に付随する情報拠点の整備
- ・コンテンツ造成及び造成後の運営に不可欠な地域住民の意識醸成に必要な施策を実施

令和元年度 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

「四国遍路」滞在型コンテンツ開発事業報告書【概要】

◆実施項目

		項目	内容
コンテンツの開発・造成	本格派向けコンテンツ	「Shikoku88」の完歩を目指す外国人を対象として、四国遍路のスタートの地である徳島県において3つのトレーニング・プログラムを造成。	・基礎的な遍路マナー、日本文化、トレイルの楽しみ方、宿泊情報、体調管理・危機管理などを盛り込み、コーディネーターとともに体験出来るコンテンツを検討し開発。 ・「最もニーズが高い1泊を標準とし、短縮及びオプション付きを加えることが効果的」との専門家の意見を反映して、3つのプログラムを造成した。 ・ショートプログラム（日帰り） ・標準プログラム（1泊2日程度） ・オプション付きプログラム 成果物①、③、④を作成した。
	ライト層向けコンテンツ	周辺観光と併せて、遍路体験もしてみたい外国人を対象とした日帰り又は1泊2日程度コンテンツを7件以上造成。 ・各霊場や宿坊等での修行体験（護摩、穴禅定等）、主要な遍路道トレイル体験、地域住民との交流、歩きや自転車等による周辺観光等々、気軽に遍路体験を楽しんでもらうコンテンツを造成。	1泊2日程度のコンテンツを四国全体で9件造成。 ・徳島県2件 ・香川県2件 ・愛媛県3件 ・高知県2件
	素材集の作成と滞在型旅行商品の提案	造成したコンテンツをまとめた素材集を作成する。英語翻訳を必須としコンテンツの魅力が伝わる写真などを貼付する。造成したコンテンツを活用した滞在型旅行商品を4件以上提案する。	・本格派向け1式（成果物①、②） ・ライト層向け1式（成果物⑤、⑥） ・滞在型旅行商品提案9件（成果物⑦、⑧）を作成した。
情報拠点整備	宿坊等	遍路を行う者にとって、灯台的な役割を担い、造成したコンテンツに紐付けされた情報拠点となる施設（宿坊等）を各県1～2カ所程度整備。	四国全体で25件整備した。 ・徳島県 7件（内、本格派4件） ・香川県 4件 ・愛媛県 5件 ・高知県 9件
	それ以外	宿坊以外の既存の施設（おもてなしステーション、道の駅を含む）についても視野に入れ、検討。	

令和元年度 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業 「四国遍路」滞在型コンテンツ開発事業報告書【概要】

◆業務内容

①過去の調査調事業のデータやオープンデータの活用

コンテンツ開発にあたり、ニーズの把握、改善点を明確化するために、以下の調査・分析を行った。

- ・過去の調査、オープンデータの活用。
- ・過去の調査データに無い項目について、その項目に特化した調査・分析を実施。
- ・不足している各種情報の明確化（外国人遍路に必要な情報・ニーズ等の把握、コンテンツ・情報拠点候補・ガイド人材等の発掘等）

▼活用した調査

- ・「新時代における遍路受入態勢のあり方調査」（四国アライアンス・2018年）
- ・「体験型観光コンテンツ市場の概観」（観光庁・2019年）
- ・「“歩き遍路”を目的とした欧米豪からの訪日外国人旅行者の受入環境整備対策事業」（百十四経済研究所・2019年）

②ワークショップ（WS）等の開催

コンテンツの開発、検証、課題抽出、磨き上げを行うため、DMO、外国人（日本在住の外国人を含む）、四国遍路の実態や状況を普段から把握している関係者、専門家を構成員とするWSを実施。

その他、必要な情報拠点として、四国内の宿坊や道の駅、観光地等を活用した情報のネットワーク化についても検討。

【実施回数】

- ・本格派向け 2回
- ・ライト層向け 5回
- ・本格派・ライト層共通 2回

【WS有識者】

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ・モートン 常慈氏（徳島大学） | ・松本 浩氏（公認先達） |
| ・穴戸 栄徳氏（NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク） | ・グルネウォルド・マーク氏、和世氏（(株)englishbiz） |
| ・岩本 昌子氏（コーディネーター/ライター/通訳・翻訳/ガイド） | ・佐藤 崇裕氏（(株)四国遍路） |
| ・黒田 忠良氏（(一社)ツーリズム徳島） | ・横山 哲也氏（徳島バス(株)） |
| ・十河 瑞澄氏（(一社)四国八十八ヶ所霊場会） | ・大山 愛氏（ブリッジインターナショナル） |

「四国遍路」滞在型コンテンツ開発事業報告書【概要】

◆業務内容

③コーディネーター及びガイドの育成

造成したコンテンツや情報拠点等で以下の業務を行う人材を、各県の国際交流関係の組織と連携してピックアップし、育成した。

・コーディネーター

（本格派コンテンツのガイドとして、歩き遍路中のトラブルやストレスに対処しながら、その魅力を最大限享受するために簡単な指導を行う。）

・ガイド（ライト層向けコンテンツを案内する。）

上記人材の育成にあたっては、実地研修を取り入れて行った。

・徳島県にて本格派向けコーディネーター養成講座を5回開催（育成人数8名）

・ライト層向けガイド養成講座を香川県、高知県、愛媛県各1回、計3回開催（育成人数72名）

・コーディネーター、ガイドのための自主学習教材として成果物⑨を作成した。

※新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため、ガイド養成講座5回のうち2回を中止とし、代替としてガイド用自主学習資料を参加予定者等に配布。



▲コーディネーター育成講座



▲ガイド育成講座

「四国遍路」滞在型コンテンツ開発事業報告書【概要】

◆業務内容

④海外旅行会社等の招請とブラッシュアップ

造成されたコンテンツについて、課題抽出のためのモニタリングとして海外旅行者等を招請し、検証、修正、磨き上げを行った。

- ・海外旅行会社及び欧米向けに事業を展開するランドオペレーター等を3名選定し、2回招請。
- ・1回目は課題抽出のためのモニタリング、2回目はモニタリングを踏まえた修正結果の検証を行った。

【被招請者】

- ・宮武 宏征氏(BEAR LUXE JAPAN)
- ・ノーマン・ホワイト氏(CYCLE SHIKOKU)
- ・アレックス・ブラッドショー氏
(GOTOKU、島津興業)

◇1回目（課題抽出）

- 第1組 12月9日～13日（2名）
- 第2組 12月19日～22日（1名）

◇2回目（修正結果の検証）

- 第1組 2月10日～14日（2名）
- 第2組 2月19日～24日（1名）



⑤地域住民意識啓発セミナー等の実施

コンテンツ造成後の運営、連携に係る地域住民等の理解や協力を得るために、地域企業（法人、個人）、地域住民等を対象とした小規模単位のセミナー及び個別訪問を実施。

- ・企業地域住民等に対して、コンテンツ化に対する意識醸成を図り、地域住民とのふれあいに繋げた。
- ・補完ツールとして、VoiceTra等の案内も行い、各種情報発信拠点との意識付けを行った。

セミナー：実施回数2回（愛媛、高知）、参加者数44名

個別訪問：実施回数15回、訪問先91箇所140名

※新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため、4回開催予定だったセミナーのうち2回（徳島、香川）を中止、代替として個別訪問2回に切り替え。

「四国遍路」滞在型コンテンツ開発事業報告書【概要】

◆事業の成果

① コンテンツ造成数(アウトプット)

【基準値】0 → 【目標】10(2020年4月時点)、【実績】12(2020年4月時点)

② 旅行商品企画数(アウトカム)

【基準値】0 → 【目標】4(2020年10月時点)、【実績】4(2020年4月時点)

③ 成果

- 対象市場向けコンテンツを12件造成
(本格派向けコンテンツ3件、ライト層向けコンテンツ9件)
- 本格派向けのコーディネーター、ライト層向けのガイドを養成
- 情報拠点施設を25箇所整備

④ 成果物(画像抜粋)

① 本格派向けコンテンツ(日本語版)

② 本格派向けコンテンツ(英語版)



令和元年度 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業 「四国遍路」滞在型コンテンツ開発事業報告書【概要】

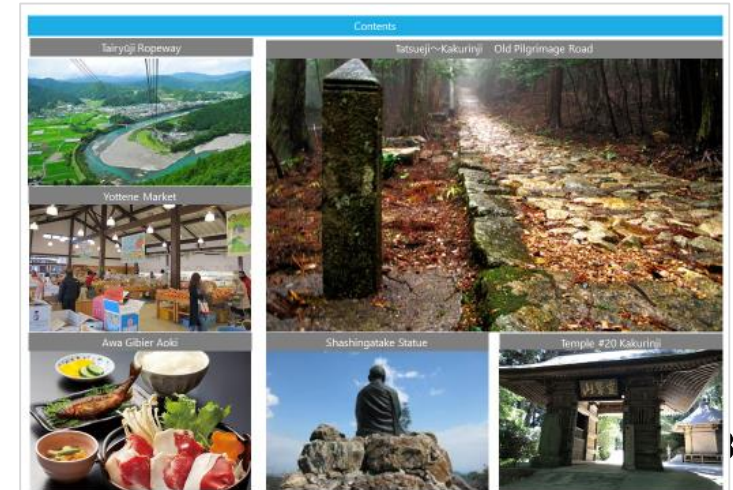
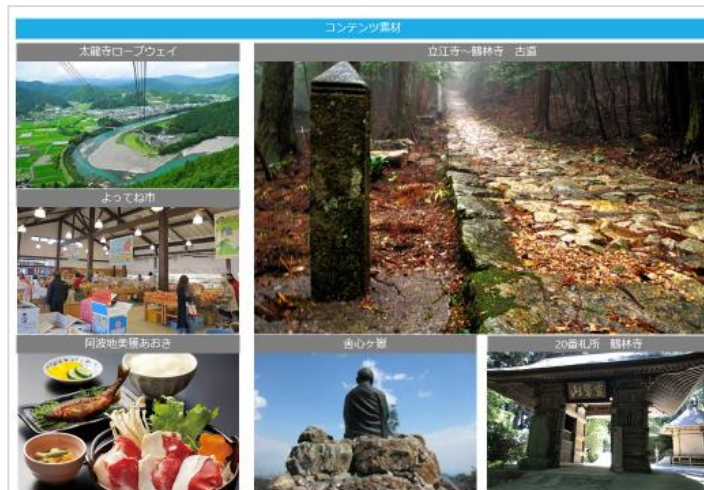
◆事業の成果

④ 成果物(画像抜粋)

- ③ ライト層向けコンテンツ素材集 日本語版
⑦ ライト層向けコンテンツ素材集 (情報拠点含む) 日本語版



- ④ ライト層向けコンテンツ素材集 英語版
⑧ ライト層向けコンテンツ素材集 (情報拠点含む) 英語版

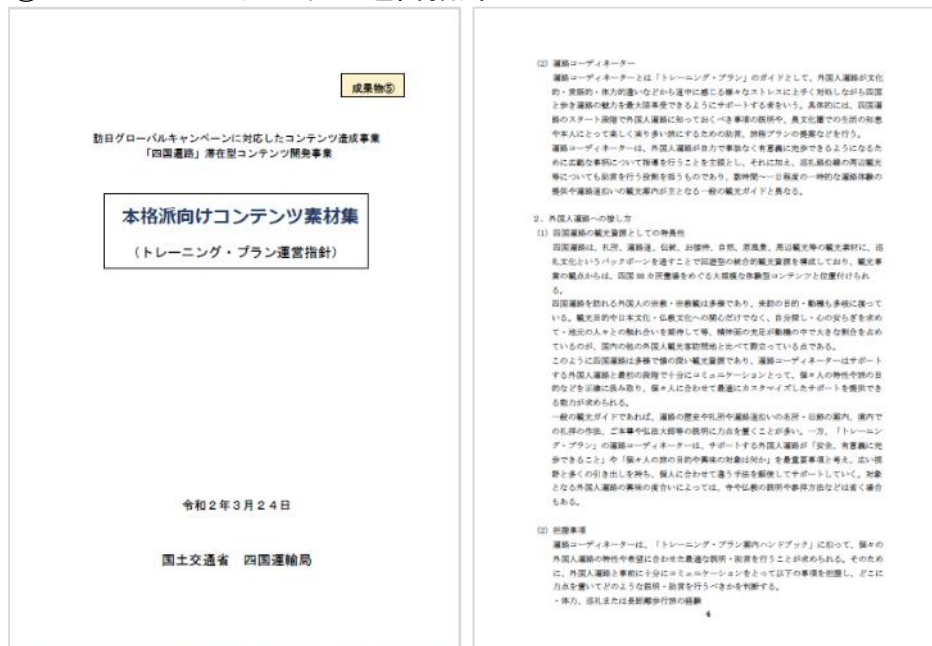


令和元年度 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業 「四国遍路」滞在型コンテンツ開発事業報告書【概要】

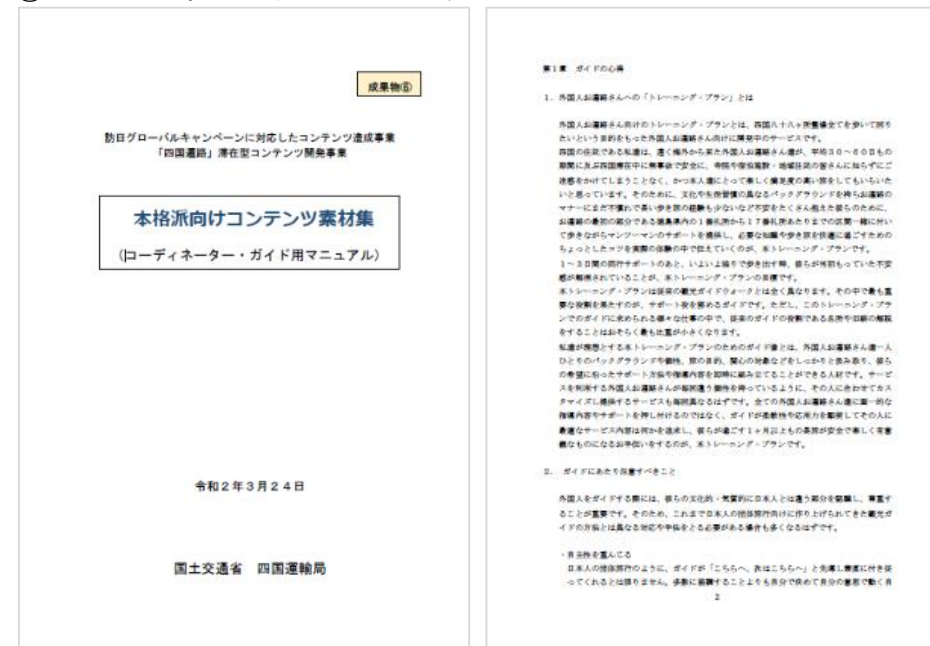
◆事業の成果

④ 成果物(画像抜粋)

⑤ トレーニングプラン運営指針



⑥ コーディネーター・ガイド用マニュアル



令和元年度 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業 「四国遍路」滞在型コンテンツ開発事業報告書【概要】

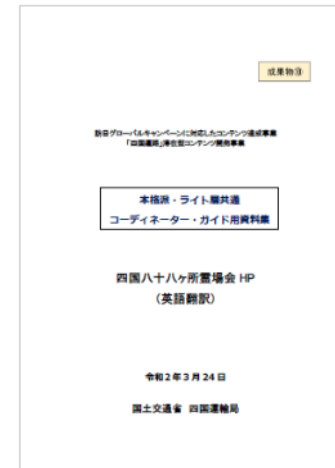
◆事業の成果

④ 成果物(画像抜粋)

⑨ ガイドのための自主学习資料



⑩ コーディネーター・ガイド用資料集



⑪ 滞在型旅行商品集 (提案)



令和元年度 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

「四国遍路」滞在型コンテンツ開発事業報告書【概要】

◆造成したコンテンツ(本格派向け)

No.	コンテンツ名	コンテンツ概要	実施場所・施設名
1	トレーニングプラン① 【ショートプログラム】	朝、要望等のヒアリングを行い、希望に応じてトレーニングプランを決定する。1番～6番札所に同行して、短時間で「歩き遍路」の必要不可欠な情報(基礎知識や宿泊・食事等の生活関連事項含む)について、最低限のアドバイスを行う。 (所用時間は、7:30～17:00)	1番霊山寺 ～6番安楽寺 (ATM、コンビニ含む)
2	トレーニングプラン② 【標準プログラム】	①のショートプログラムに、6番札所での宿坊体験や旅のプランニングを支援する。巡礼生活の一日の流れに沿った体験学習が受けられるため、仏教や遍路文化、伝統的食文化について、より詳細な説明が受けられる。 (所要時間は、7:30～21:00(～翌朝8:00も可能))	1番霊山寺 ～6番安楽寺 宿坊(勤行) (ATM、コンビニ含む)
3	トレーニングプラン③ 【オプション付きプログラム】	①、②にオプションを追加し、余裕を持ったサポート、十分なコミュニケーションが取れるため、更に安心、納得のプログラム。自由に場所と時間が決められるため、巡礼プランの作成等、きめ細やかなサポートが可能。1番～10番(読経、参拝方法を公認先達が指導)、11番～12番(遍路ころがし)の山間部の遍路道の歩行等をサポート。	1番霊山寺 ～10番切幡寺 11番藤井寺 ～12番焼山寺

令和元年度 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

「四国遍路」滞在型コンテンツ開発事業報告書【概要】

◆造成したコンテンツ(ライト層向け)

No.	コンテンツ名	コンテンツ概要	実施場所・施設名
4	鶴林寺から太龍寺への遍路道を歩く	鶴林寺、太龍寺の山寺とローカルな自然の景観を楽しめる。アドベンチャーを好む層には遍路道歩き(トレッキング)の提案も可能。	徳島県加茂周辺エリア
5	空海の足跡:薬王寺から室戸への道	サーフィンなどを楽しむアクティブ層をターゲットとし、日本のローカルエリアに滞在することで、飾らない日本の普段の生活を垣間見られる。日和佐のゲストハウスに宿泊し、日和佐内の食事場所で夕食を食べ、ゆっくりと町や薬王寺を巡ることで、地元の人との触れ合いが出来る。藍染などの文化体験も可能。	徳島県日和佐周辺エリア
6	室戸岬・最御崎寺周辺の自然の驚異	海岸沿いを走りながら、ジオパークやお遍路の札所、地元グルメを楽しめるサイクリングコース。	高知県室戸周辺エリア
7	ただ訪れるだけで心を打つ窪川の街並み	岩本寺・カフェ半平を中心に昭和の香りが残るノスタルジックで小さな町、窪川を散策。断崖絶壁に建てられた謎の神社訪問や観光列車で四万十の景色を楽しむことも可能。	高知県窪川周辺エリア
8	讃岐遍路道 根香寺道と悲運の帝崇徳上皇ゆかりの地を巡る旅	白峯寺～根香寺間のお遍路道、根香寺道を中心としたコンテンツであり、外国人がイメージしているお遍路道、つまり古道歩きの体験ができる。道沿いには道標・丁石も残っており、より古道の雰囲気を経験できる。また、高松市内からアクセスも良く、白峯寺～根香寺間は約5km・約2時間と比較的気軽に体験できる。	香川県坂出周辺エリア

「四国遍路」滞在型コンテンツ開発事業報告書【概要】

◆造成したコンテンツ(ライト層向け)

No.	コンテンツ名	コンテンツ概要	実施場所・施設名
9	歴史に彩られた屋島散策 瀬戸内海の風景に溶け込んだアート作品	アート施設(イサムノグチ庭園美術館など)+レトロ八栗ケーブル+八栗寺(お遍路)など、瀬戸内の景観と融合した歴史、アート、レトロを楽しめる。	香川県高松周辺エリア
10	伊予の小京都・大洲、白壁と木蠟のまち・内子を歩く	大洲和紙・木蠟といった長年継承されてきた伝統工芸とその歴史的町並みを感じることができるコンテンツ。通りをふらりと散策するだけで、まるで江戸時代にタイムスリップしたかのような気分に。	愛媛県大洲エリア
11	久万高原の遍路道と面河溪の探訪	四季によって様々に表情を変え、訪れた人々を楽しませてくれる溪谷美や、四国一難所とされる岩屋寺ならではのおもてなしが体験できるエリア。古民家宿泊体験と岩屋寺のせり割禅定体験、面河溪(特に春～秋)を併せたコンテンツ。	愛媛県久万高原周辺エリア
12	石鎚山:修験道の道	学んで、感じて、体を動かして。石鎚山を通じて、気づきを得る修験道体験。単なるトレッキングではなく、山岳信仰が仏教信仰と結びついて「修験道」とされた日本独自の宗教(文化)としての体験。都市部では体験できない伝統的な日本文化に触れられる。	愛媛県石鎚周辺エリア